

佐伯立東雲中学校 学力向上プラン1（8月）

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p><b>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> 全ての教科で、県及び全国平均を上回ることができた。取り組みを継続しつつ、各教科で平均をクリアできなかった問題について、対策を講じていく必要がある。</p> <p><b>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</b> 中間で平均7割以上が70%、期末では71.4と目標をクリアしている。また、概ね授業内容を理解している割合は、平均で83%となっている。</p>	<p><b>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</b> 学習状況の中では、特に好きな教科をあげることができないことや、学んだことが将来役立つかなどの目的意識の低さが気になる。</p> <p><b>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</b> 自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりできている生徒は70%と県及び全国を大きく上回っており、授業への積極性が高いことが伺える。</p>
指導の状況	<p><b>1 組織的な授業改善の取組状況</b> 問題解決的な授業の取り組みは、教師評価で88%、生徒評価で80%と概ね取り組むことができています。発表や交流などの場面は設定できているものの、相手を意識した発表ができていない生徒が59%と教師が指導していると答えた割合88%に対して低いことが問題であるといえる。</p> <p><b>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</b> どの教科も補充学習に力を入れており、毎日学習する生徒が100%（2年生）となっていることから伺える。夏休みには、教室を開放して自主学習を奨励している。また、質問にはいつでも対応することができている。</p>	



【授業改善の5点セット】					
	授業改善テーマ	授業改善の重点	取組内容	取組指標	達成指標
今後の具体的な取組	「まなびに向かう力」を身につけ、「自主的に家庭学習」を行うことができる生徒の育成	思考力、判断力、表現力を養うための学習課題の設定。	単元を通して、生徒が興味関心をもつような学習課題を設定する。	単元に1回以上、探求的な課題を設定し、授業展開の工夫を図る。	学級やグループ中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んだと思う生徒の割合を8割以上にする。
		授業の要点を理解し、家庭で自主的に取り組める課題（宿題）の設定。	授業と連動した家庭学習プリントを課題（宿題）にし、家庭学習の習慣化を図る	家庭学習で復習したことを、単元に1回以上は小テストや単元テストで確認する。  小單元ごとに区切ったチェックリストを作成し、生徒個々の理解状況やつまずきを全職員で共有し、指導に役立てる。	「授業の内容がだいたい理解できた」と回答する生徒の割合を8割以上にする。  定期テストで各教科の平均点70点以上の生徒の割合を6割以上にする。
【その他の学力向上の取組】					
<p>○単元ごとに授業評価アンケート（生徒）を実施して、授業改善に生かす。</p> <p>○条件のついた文章（作文）の記述ができるよう、単元に1回は振り返りで確認（発表、話し合い、教え合いなどで）をさせたり、毎回の定期テストに組み込んだりする。</p>					

【「学校評価の4点セット」の学力向上に関する家庭・地域との協働の取組】			
	達成指標	重点的取組	取組指標
家庭・地域との協働	家庭	我が子の良い所を褒めたり、家庭での役割（手伝い等）を明確にして、家族の一員としてやったことやできたことを認め、感謝することができるようにする。	家庭では、学校からの情報発信を足がかりとして、1週間に1回は学校生活を話題にした話をする。PTAと学校が協力して、保護者の意識の高揚や自尊感情についての情報発信を2学期に1度以上は行う。
	地域	地域の活動や行事に年間3回以上は参加した生徒が8割以上	振興局から自治会と学校へ行事案内を行う。  振興局は、避難訓練、しめ縄づくり、930クリーンアップなどの主要行事を自治会と学校に配布して協力を求める。